

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	67	平和啓発事業の推進					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	05	平和の推進と国際化への対応					
施策	01	平和事業の推進					
事業内容							
目的	区民の平和に関する認識を一層深めるため、「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和の啓発普及活動を推進します。						
対象・手段	区民、特に戦争を知らない世代を対象に、平和展・平和のポスター展・親と子の平和派遣・平和派遣報告会・すいとんの会・平和講演会などの地域に根ざした啓発活動を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
平和を願う児童・生徒と平和の大切さを深く認識できる区民を育てることで、平和な社会を構築します。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
平和のポスター展への参加校数	応募校数	(平成19年度に (41校)の水準達成)					
平和講演会の参加者数	参加者数	(平成19年度に (100人)の水準達成)					
		()年度に ()の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1	校	43.00	41.00	41.00	41.00	*平成17年度統廃合により2校減
	実績1	校	24.00	25.00	26.00	25.00	
	= /	%	55.81	60.98	63.41	60.98	
	目標値2	人	100.00	100.00	100.00	100.00	
	実績2	人	100.00	77.00	100.00	100.00	
	= /	%	100.00	77.00	100.00	100.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	平和展は3会場で開催。うち新宿歴史博物館で平和のポスター展と同時開催。親と子の平和派遣、平和派遣者との協働事業等の平和関連事業を実施。平和のポスター展の開催(対象:小学校4・5・6年生 中学校1・2・3年生 特別支援学校生徒 7/22から7/30まで 歴史博物館で開催)。						
平成19年度	平和展・平和のポスター展は、新宿歴史博物館で同時開催。本庁舎1Fロビーと新宿スポーツセンターの3会場でパネル展示等を実施。親と子の平和派遣、平和派遣者との協働事業等の平和関連事業を実施。平和のポスター展の開催(対象:小学校4・5・6年生 中学校1・2・3年生 特別支援学校生徒 7/21から7/29まで 歴史博物館で開催)。						

部名称		総務部		課名称		総務課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	2,570	10,899	2,487	2,094	
	人件費	千円	3,335	3,335	3,312	3,304	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	5,905	14,234	5,799	5,398	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	5,905	14,234	5,799	5,398	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	5,905	14,234	5,799	5,398	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>戦後60年以上が経過し、戦争の悲惨さを直接に継承する人が少なくなっている現状のなかで、若い世代が平和の大切さに関する認識を一層深める事業を推進していく必要があります。</p> <p>平和のポスター展への児童・生徒の参加率を高めることが重要です。しかし、限られた授業時数の中で、そのための時間数を確保するための工夫が必要となっています。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	平和派遣者との協働事業等は企画を十分に練ることで、多くの方の参加を得てアンケート結果も好評でした。また、平和のポスター展への参加校が6割を超え、次代を担う子どもの平和意識を深めることができました。				
	実施の成果	2	事業参加者のアンケート結果から、成果があったと言えます。また、平和のポスター展への参加率からも、学校という集団生活を通じて、共に尊重しあう態度と平和に関する認識を深めさせる契機となっており、成果があったと言えます。				
	効率性	2	区民との協働により実施することで、内容の充実を図り、より効果的な啓発が可能となっています。また、学校教育の中で、平和に関する学習を推進し平和についての認識強化を図ることは、効率的な啓発に繋がっています。				
	行政の関与	3	平和は区民生活の基本を成すもので、平和啓発事業は区民との協働により継続して実施する必要があります。また、平和に関する認識をより一層深め、平和を願う児童・生徒の育成を区が継続して行う必要があります。				
	妥当性	2	平和な社会を構築するための啓発は、平和について考える契機を与えることが必要であり、平和事業の実施は妥当な手段です。また、次代を担う児童・生徒が平和のポスターに取り組むことは、平和意識を醸成するための妥当な手段です。				
	施策寄与度	2	平和展、平和講演会等の平和啓発事業や学校教育の中で平和啓発を行うことは、平和な社会の構築に寄与しています。				
総合評価	19年度、17年度からの3年間の評価はともにBです。その理由は、平和は区民生活の基本を成すもので、平和について考える契機となる平和啓発事業は、継続的に推進していくことが必要ですが、平和展・平和講演会・平和派遣事業等の各事業を予定どおり実施することで、多くの方が平和について考える契機とすることができたからです。また、学校教育全体の中で、継続して恒久平和を願う児童・生徒を育成することは平和な社会を構築するためにも有意義ですが、平和のポスター展への参加校は平成17年度から19年度の3年間にわたり6割を超えていることから、恒久平和を願う児童・生徒を育成する役割を果たしたと言えます。						B
							過年度評価
						18年度 B	
						17年度 A	
						16年度 B	
						15年度	
改革方針							方向性
	<p>戦後60年以上が経過し、戦争の悲惨さを直接継承する人が少なくなっているなか、戦争の悲惨さと平和の大切さを若い世代に継承するため、第一次実行計画「85平和啓発事業の推進」に引き継いで取り組んでいきますが、各事業の参加者を増やすため、上映会等を併せて実施するなど、より多くの人に平和について考える契機を提供します。</p> <p>また、学校教育においては、平和のポスター展のほか、各教科等における平和にかかわる単元での学習等、各学校の実態に即した多様な展開を研究・工夫することが重要です。今後とも教育全体の中で様々な機会を活用して、恒久平和を願う児童・生徒の育成に努めていきます。</p>						4
						拡大	